

# 南極探検と観測事業

白い氷に覆われた厳しい自然の南極、人類が南極点に到達したのは1911年で僅か100年余り前のことです。この南極の探検と、1957年の国際地球観測年から始まり今に続く日本の南極観測事業を、第1次越冬隊長・西堀榮三郎のエピソードを含めて紹介するのを中心に、各国の南極観測基地や、基地でのアマチュア無線局のQSLカードなども紹介します。

## 1. 南極探検 (2~4頁)

オーストラリアの探検隊の南磁極到達、アムンゼンやスコットの南極点到達、白瀬中尉の南極探検など。

## 2. 第1次南極観測隊/越冬隊と西堀榮三郎 (5~10頁)

第1次南極観測隊と、「西堀榮三郎記念探検の殿堂」の活動や、「モチベーション研究会」の「西堀かるた」を交え、西堀榮三郎・第1次越冬隊長のエピソード。

## 3. 国際地球観測年などの記念切手と、昭和基地を中心とした南極観測事業 (11~28頁)

国際地球観測年から始まった日本の南極地域観測事業を年代順に、南極観測船と昭和基地の風景印と、南極条約10周年、観測船「しらせ」就航、観測事業開始50周年などの記念切手。

## 4. 南極条約と各国の南極観測基地 (29~32頁)

南極の領有権主張と南極条約や、外国の南極基地の一部を、またそこで運用されたアマチュア無線局のQSLカードなど。



## オーストラリアの探検隊南磁極到達(1909)

オーストラリアのアリスティア・マッケイ(Dr. Alistair F. McKay 1878-1914)、エッジワース・ディヴィド(Sir Tannatt William Edgeworth David 1858-1934)、ダグラス・モーソン(Sir Douglas Mawson 1882-1958)の3人の探検家は、1908年から1909年にかけての南極探検で、1909年1月16日に南磁極に到達、ユニオンジャックの国旗を立てた。



1909年1月16日 南磁極でのMcKay, David, Mawsonの3人の探検家 (ウキペディアより)



オーストラリア南極地域 1961.7.5 南磁極に到達した南極探検隊の切手初日カバー 実運 メルボルン→岡山



# 英国の探検家スコットが南極点到達(1912)

アムンセン初南極点到達の2ヶ月後、  
英国のロバート・ファルコン・スコット  
(Robert Falcon Scott 1868-1912)が、  
1912年1月4日に南極点へ到達。

英国 1972.2.16



ロバート・ファルコン・スコット

英国南極地域 1987.3.19 ロバート・ファルコン・  
スコット南極到達75年記念 初日カバー →



Post Office First Day Cover

## British Polar Explorers



BRITISH AND OVERSEAS PHILATELIC AGENCY  
1-7 KYOBASHI  
CHVO-KU  
TOKYO  
JAPAN

# 日本の白瀬矗中尉の南極探検(1912)

日本の白瀬矗(しらせ・のぶ1861-1946)中尉を隊長とする27名の南極探検隊は、1910年(明治43年)11月28日、東京の芝浦から「開南丸」で出発し南極を目指した。そして1912年1月28日、南緯80度5分への南進を果たし、一帯を「大和雪原」と命名した。(20世紀デザイン切手の解説書を参照)

日本 2012.1.13



白瀬矗となまはげ

日本 1999.9.22



白瀬矗とオーロラ

日本 1960.11.29



白瀬中尉南極探検50年

白瀬中尉 (ウキベディアより) →



日本 1960.11.29 白瀬中尉南極探検50年記念初日カバー



# 第1次南極観測隊出航記念

第1次南極観測隊53名を乗せた南極観測船「宗谷」PL107は、1956年11月8日午前11時、東京晴海埠頭から出航した。



日本 1956.11.8 日本南極観測隊出航記念特別印 押印カバー



日本 1956.11.8 日本南極観測隊出航記念特別印押印カバー(郵便局留置実通)  
(使用切手は1949.11.1発行 UPU75年記念小型シート耳紙に加刷、周囲を切断したもの)

# 第1次南極観測隊上陸記念

第1次南極観測隊が南極に上陸、1957年1月31日のオングル島基地世設定の日に、観測船「宗谷」に初めて郵便局が開設され、マストに郵便旗が掲げられた。また、オングル島基地の越冬建造物入口に設営された宗谷船内郵便局分室の大瀬正美郵政省電波研究所技官が上陸記念スタンプを押印した。

日本 1956.12.20 年賀切手



この切手の図柄が南極と関係ある鯨であつたので、「宗谷」が出航後郵政省の特別の計らいにより、これを寄港地の南アフリカのケープタウンまで空輸して、南極上陸記念の消印用として利用された。

郵便旗を掲げた宗谷と、宗谷郵便局昭和基地分局での押印風景の写真を掲載した、記念カバー用説明カード一



写真上、昭和三十一年一月三十一日、日本南極観測隊のオングル島基地世設定の日、「観測船宗谷」に始めて郵便局が開設されマストに郵便旗が掲げられた時の景観。

The postage stamps on the cover are the 1957 New Year special postage stamps issued on December 20, 1956, after the departure of the Soya, the Japan expedition steamer.

The stamps were carried by plane to Cape Town for transhipment into the Soya there.

The stamp on the left is the genuine one used by the Japan Antarctic Expedition.

The postmark depicting penguins was stamped by the Soya Post Office in the Antarctic.

## 日本南極観測隊上陸記念

十二月二十日発行の年賀切手は「宗谷」が内地出航後南アフリカのケープタウンまで空輸し「宗谷」に到着した。この切手は白紙に当り郵便文化館で作成した。写真下、オングル島基地の越冬建造物入口に設営された宗谷船内郵便局分室が上陸記念スタンプの押印風景が掲載された。日本



日本 1957.1.30 日本南極観測隊上陸記念特別印押印カバー



# 第1次南極越冬隊長・西堀榮三郎

厳しい南極で、年間を通じて南極地域を観測する第1次越冬隊は、西堀榮三郎隊長以下11人であった。



西堀榮三郎博士 1982年 N.Y.にて



中央が作間敏夫通信担当越冬隊員

2007年「西堀榮三郎記念探検の殿堂」での企画展にて



南極観測隊絵はがき  
日本科学技術連盟寄贈2種の内  
の1種。西堀榮三郎博士逝去後、  
遺族によって「西堀榮三郎探検の  
殿堂」に寄贈された遺品に含ま  
れていたものを、2007年に開か  
れた企画展で、参加者に配布さ  
れた。



# 西堀博士の講演とモチベーション研究会

品質管理の権威でもある西堀榮三郎博士は、大学や企業で積極的に講演を行い、南極越冬隊での経験から学んだ事を人々に伝えられた。その基本はモチベーションであり、日本規格協会内にモチベーション研究会を作るよう提唱された。



南極越冬当時の写真 1957年  
作間隊員の通信を見守る西堀越冬隊長



← 企業で講演中の西堀榮三郎博士  
1979年 シャープ株式会社にて

**日本規格協会  
モチベーション研究会400回記念  
2009年6月13日**

西堀榮三郎  
**品質管理心得帖**

80円 郵便

モチベーション研究会400回記念行事WG発行



# モチベーション研究会と西堀かるた

POST CARD



モチベーション研究会は、西堀博士の講演記録から、その教えの要点を拾い上げ48枚のいろはかるたを作り「西堀かるた」と名付けた。西堀榮三郎記念探検の殿堂では、この絵はがきなどを作り広めている。

日本 2009 フレーム切手



西堀かるた

← 西堀かるたの絵はがきにフレーム切手  
「若いときの夢はかなえられる」は、6歳の時に京都・南座で白瀬中尉の南極報告を聞き、南極に夢を抱いて実現した経験からと思われる。

「若いときの夢はかなえられる」

少年の夢は美しい。少年が夢を捨てずもち続け、努力を続ければやがて実現する。

西堀榮三郎記念探検の殿堂

☎0749-45-0011

<http://www.tanken-n.com>

Illustration by Astushi Fukuda



異質の協力でチームワーク

Achieve a teamwork through cooperation of different natures

Nishibori Maxims  
All wisdoms of Earth & Universe...

西堀かるたの絵はがき「異質の協力でチームワーク」は、南極越冬隊での経験から

# 西堀榮三郎記念探検の殿堂

「探検の殿堂」には南極体験ができる低温室があったり、西堀語録の企画展開催などを行ってきた。



最初というのは  
必ず一度はあるのだ。

Nishibori Eizaburo Maxims

西堀語録絵はがき

郵便はがき

5 2 7 0 1 3 5

西堀榮三郎記念探検の殿堂

滋賀県東近江市横溝町四一九

無線倶楽部 事務局 行



西堀榮三郎記念探検の殿堂風景 2003年

マイナス25℃の南極体験



西堀榮三郎記念 探検の殿堂  
EXPLORER MUSEUM  
滋賀県愛知郡湖東町 ☎0749-45-0011

西堀榮三郎記念探検の殿堂無線倶楽部は南極の昭和基地とアマチュア無線で交信をした 2008年



# 国際地球観測年記念・第2次南極地域観測記念



日本 1957.7.1 国際地球観測年記念初日カバー

第2次越冬隊は悪天候のため昭和基地への上陸を断念せざるを得ず、滞在中であった第1次越冬隊は小型飛行機で宗谷へ撤退した。このとき第2次越冬隊と対面するはずの樺太犬15頭が鎖に繋がれたまま基地に取り残された。



日本 1958.1.30 第2次南極地域観測記念 宗谷・昭和基地 記念消印押印記念カバー

## 第3次・第4次南極地域観測記念

第3次越冬隊は1959年1月に、前年に南極に取り残された樺太犬15頭のうち、兄弟犬「タロ」と「ジロ」が生存しているのを発見、再開した。他の13頭は行方不明または鎖でつながれたまま餓死していた。



日本 1959.1.30 第3次南極地域観測記念 宗谷 記念消印押印記念カバー



日本 1960.1.30 第4次南極地域観測記念 宗谷 記念消印押印記念カバー



## 南極地域観測再開記念・第7次観測隊

1962年以来中断されていた南極地域観測は、1965年から再開されることになり、新たに31億円を投じて建造された新鋭南極観測船「ふじ」AGB5001で、第7次観測隊29人が南極に向けて出発した。「ふじ」は、大型ヘリコプター3機を備え、輸送の効率化をはかり、厚さ6mの砕氷能力を持つ優秀船であった。



日本 1965.11.20 南極地域観測再開記念初日カバー



日本 1965.11.20 カシエに第7次観測隊の記念印を押した 南極地域観測再開記念初日カバー

## 南極条約 10 周年記念・第 14 次観測隊

南極条約は南極の平和的利用を決めた条約で、1961年に英国、米国、ソ連、フランス、ベルギー、ノルウェー、オーストラリア、ニュージーランド、アルゼンチン、チリ、南アフリカ、日本の12ヶ国で交わされた。領土権を主張しないこと、核実験や軍事施設の設置など軍事目的に使用しないことなどを決めている。



日本 1971.6.23 南極条約10周年記念初日カバー



日本 1973.1.1 第14次南極地域観測記念カバー（白封に昭和基地の風景印）



# 第15次南極地域観測隊



日本 1974.1.1  
第15次南極地域観測記念  
(普通はがきに「富士船内」の風景印)



日本 1974.1.1 第15次南極地域観測記念  
(普通はがきに「昭和基地内」の風景印)

# 第18次・第19次南極地域観測隊



日本 1977.1.1 第18次南極地域観測記念カバー



日本 1979.1.1 第19次南極観地域測記念カバー  
(第19次南極越冬隊帰国年の昭和基地内の新風景印)



# 日本南極観測 25 周年記念

郵政省電波研究所は1982年の日本南極観測25周年記念の為に、第2次南極観測船「ふじ」と第1次南極観測船「宗谷」の写真を載せた、2つ折りのカード(12 x 36cm)を作成した。その裏に当時発行の記念切手が12枚貼られ、昭和基地内郵便局の昭和57年1月4日から平成5年1月1日まで12年間の「昭和基地内」郵便局の和文日付印で消印されている。このカードは日本と南極を12年間往復したのであろうか。



日本南極観測25周年記念カードの写真 表紙に南極観測船「ふじ」、裏面に「宗谷」が描かれている。



日本南極観測25周年記念カードの2つ折りの内部(左側半分を表示)、電波研究所幹部から入手。

# 南極観測船「しらせ」就航記念

南極観測船「しらせ」は、老朽化した「ふじ」に代わる新南極観測船として建造が進められ、1982年11月に完成、1983年11月14日、第25次観測隊を乗せ南極初航海に就航した。(郵便切手発行案内)

## 南極観測船「しらせ」就航記念郵便切手

南極観測船「しらせ」就航を記念して昭和58年11月14日に60円郵便切手を発行した。

「しらせ」は、老朽化した現「ふじ」に代わる新南極観測船として建造が進められ、昭和57年11月完成、58年11月14日、第25次観測隊を乗せ南極初航海に就航した。

「しらせ」は「ふじ」に比べ砕氷能力、航続能力等大幅な性能アップが図られており、これの就航は今後の観測事業の飛躍の発展を可能にする出来事である。

近時、種々の側面から南極についての国際的関心が高まってきており、我が国においても諸外国に立ち遅れることなく、国民的合意に基づく南極政策を確立していく必要があり、南極観測事業のこれまでの実績、成果を再認識するとともに、国民的関心を一層高め、さらに国際的にアピールしていく必要がある。

切手の意匠は、南極観測船「しらせ」の到着を喜び迎えるペンギンとオーロラを描いたものである。

### MAIDEN VOYAGE OF ANTARCTIC OBSERVATION SHIP "SHIRASE"

A 60 yen postage stamp commemorating the maiden voyage of the antarctic observation ship "Shirase" was issued on November 14, 1983.

The construction of the antarctic observation ship "Shirase" was commissioned to replace the ageing present vessel "Fuji", and was completed in November, 1982. With the 25th observation team aboard, the ship departed on its maiden voyage to the Antarctic on the 14th of November, 1983.

"Shirase" was designed to have a higher icebreaking performance and to be capable of staying at sea longer than her predecessor, the "Fuji", and this maiden voyage will make a great advances in for observation activities possible in the future.

Recently, international interest in the Antarctic has been

heightened, recognition of national results and greetings



発行日 昭和58年11月14日  
種類 60円郵便切手  
意匠 南極観測船「しらせ」とオーロラとペンギン

### FIRST DAY OF ISSUE



「しらせ」就航記念





# 第25次・第31次南極地域観測隊



日本 1984.1.1 第25次南極地域観測記念 兼 南極観測船「しらせ」初航海記念カバー



日本 1989.12.18 第31次南極地域観測記念カバー

# 第44次南極地域観測隊



日本 2002.12.16 第44次南極地域観測記念 (航空書簡に「しらせ船内」の風景印実通)



日本 2002.12.16 第44次南極地域観測記念 (航空書簡に「昭和基地内」の風景印実通)



# 第 45 次南極地域観測隊



日本 2003.12.16 第45次南極地域観測記念カバー（「しらせ船内」の風景印と和文日付印）



日本 2003.12.16 第45次南極地域観測記念カバー（「昭和基地内」の風景印と和文日付印）

# 第46次・第47次南極地域観測隊



日本 2004.12.16 第46次南極地域観測記念カバー（「昭和基地内」の風景印と和文日付印）



日本 2005.12.18 第47次南極地域観測記念（航空書簡に「昭和基地内」の風景印実通）



# 南極地域観測事業開始 50 周年記念

## 南極地域観測事業開始50周年記念

### 郵便切手の

1956年11月、初出航し、翌年1月、この50年間、重要な役割を果たす南北の両極での観測などは、その代名詞。南極観測は、おいても重要な基地での長年、酸化炭素の濃度観測は人間の健康に悪影響を及ぼしています。南極には、今後は南極の資源が豊富にあると見込まれています。

### 郵便切手の

歴代の南極観測船、南極地域観測事業の歴史、南極地域に生息する動物の姿を表現しています。

### 南極地域観測

使用局 (A) 定例郵便局 (B) 札幌、長野、福岡の郵便局  
使用日 (A) 平成19年1月23日 (B) 平成19年1月23日



## 南極地域観測事業 開始50周年記念

50th Anniversary of the Japanese Antarctic Research Expedition



<http://www.kitte-design.net/>

発行日：平成19(2007)年1月23日(火)



↑ 郵便切手発行案内

← 日本 2007.1.23  
南極地域観測事業開始50周年記念シート



# 南極地域観測事業開始 50 周年記念

## 南極地域観測事業開始50周年記念(シール式)

### 〈郵便切手の内容〉

1956年11月8日、第1次南極観測隊を乗せた観測船「宗谷」が東京・晴海ふ頭を出航し、翌年1月29日に昭和基地を開設しました。

この50年間、日本の南極観測は近代的観測を継続して行い、国際社会において大きな役割を果たすとともに、さまざまな成果を挙げてきました。オゾンホール発見や、南北の両極でのオーロラの同時観測、惑星科学の基礎となる南極隕石の大量発見などは、その代表的なものです。

南極観測は、地球温暖化や海面上昇をはじめとする地球規模での環境変動の解明においても重要な役割を果たしています。世界に先駆けたオゾンホールの発見は、昭和基地での長年にわたるオゾン観測から生まれました。また、南極の水から過去の二酸化炭素の濃度と気温の変遷が明らかにされています。

南極は人間の活動圏から遠く離れていますが、南極観測は我々の生活と深く関わっています。南極は未知の地球環境の変遷を知り、未来を予測するうえで重要な地域であり、今後南極観測の継続の重要性、意義はさらに高まっていくものと思われます。

【日本南極観測50周年記念「ふしぎ大陸南極展2006」カタログより抜粋】

1. 切手シートは、2種類発行！（切手裏面がのり式のもの、シール式のもの）
2. シール式切手は、ポストカード付！！



## 南極地域観測事業 開始50周年記念 (シール式)

50th Anniversary of the Japanese Antarctic  
Research Expedition



## 50th Anniversary of the Japanese Antarctic Research Expedition



凸版印刷株式会社製 平成19年1月23日



# 第51次南極地域観測隊・越冬隊

昭和基地にはアマチュア無線局(コールサイン8J1RL)があり、資格のある越冬隊員が運用をしている。



第51次南極地域観測隊アマチュア無線局の2010年9月5日交信QSLカード



日本 2009.12.15 第51次南極地域観測記念 (外信用はがきに「昭和基地内」の風景印実通)

# 南極・北極の極地保護・南極条約発効 50 周年



日本 2009.6.30 南極・北極の極地保護記念シート

乗車券スロットKANSAI 南極のペンギン



2013年5月29日 阪急電鉄株式会社発行

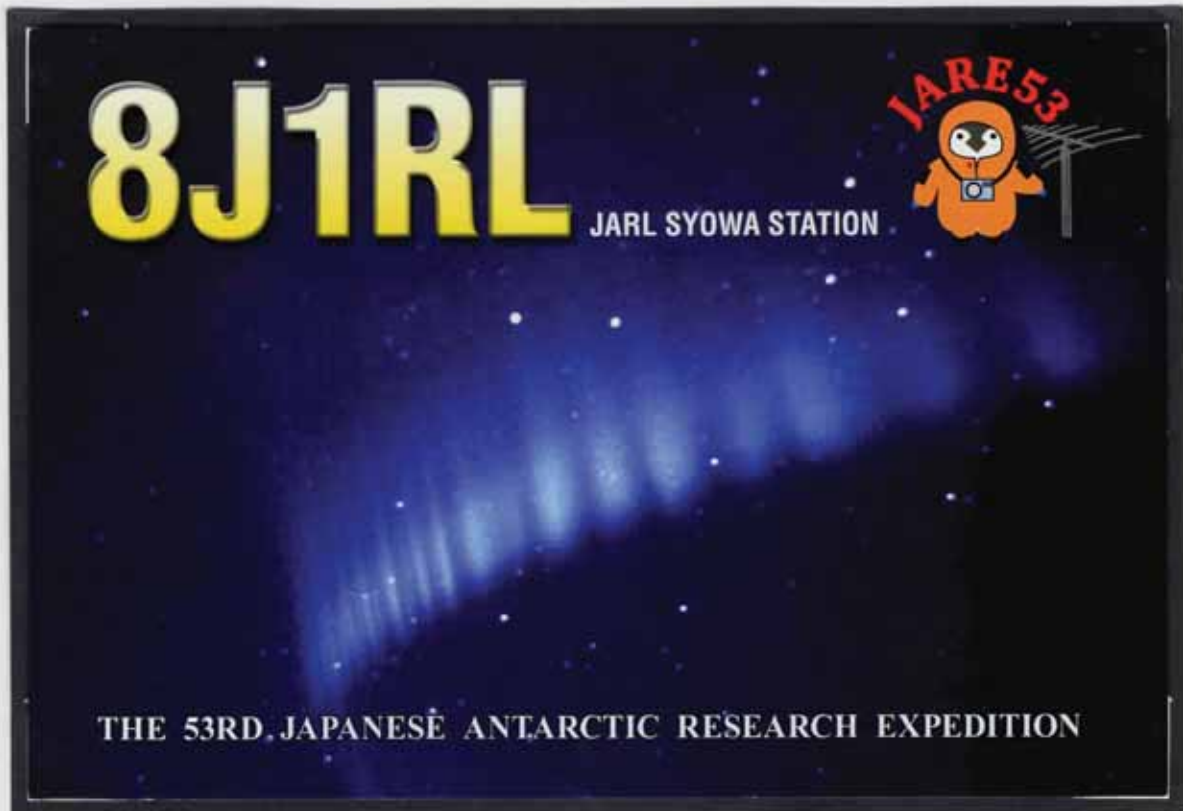


日本 2011.6.23 南極条約発効50周年記念シート



# 第53次南極地域観測隊・越冬隊

昭和基地にはアマチュア無線局(コールサイン8J1RL)があり、資格のある越冬隊員が運用をしている。



第53次南極地域観測隊アマチュア無線局の2012年7月28日交信QSLカード



日本 2011.12.5 第53次南極地域観測記念(航空書簡に「昭和基地内」の風景印実通)

# 第56次南極地域観測隊

2014年7月20日、池田市で開かれた「関西アマチュア無線フェスティバル」で、南極の講演された南極地域観測隊員の近藤巧氏が、聴講者から宛名記入済りはがきを預かり、南極から発送された。



日本 2015.1.1

2014年7月20日

近藤隊員に送す。

成心会宛り



SYOWA STATION

69° 00' 25" S

39° 35' 01" E



昭和基地郵便局長  
JG3P  
近藤



日本郵便株式会社  
銀座郵便局  
昭和基地内分室

郵便はがき

589-0005

荒川泰蔵行

大阪府大阪市狭山二丁目

九七四一八一二五〇二



# 南極の領有権主張と南極条約

南極は無人地帯であるが、一部の国は探検の成果により領有権を主張した。英国、オーストラリア、ニュージーランド、フランス、ノルウェーの5ヶ国は、それぞれの主張する地域を重ならないように調整したうえで相互に領有権を認めた。これに対し、アルゼンチンとチリが英国の主張する地域と重なる独自の領有権を主張して対立を深めていた。これらの領有権の主張は、1961年の南極条約により全て凍結されて今日に至っている。しかし、凍結のままであり放棄・否定されたわけではない。(ウキペディア参照)

チリ 1947.5.12



南極大陸の領有権主張

アルゼンチン 1972.9.2



南極条約10年記念

チリ 1972.3.2



南極条約10年記念

チェコスロバキア 1991.5.20



南極条約30年記念

中国 1991.1.22



南極条約30年記念

米国 1991.6.2



南極条約30年記念

# ベルギー南極基地・フランス南極基地



ベルギー 1966.10.8 南極観測記念小型シート



Takeharu Igo

9-15 Higashigoaka Uzumasa Neyegawashi  
OSAKA 572-0841

JAPAN (Japan)

仏領南極地方 2014.1.14 フランス第64次南極観測記念Dumont D'Urville基地の消印実通



# 米国の南極基地

米国の南極基地は、南極点のアムンゼン・スコット基地やパーマ基地もあるが、ここではマクマード基地のアマチュア無線局(コールサインKC4USV)のQSLカードと、米国海軍のエンタィアを紹介する。

ANTARCTIC US MCMURDO STATION  
ITU ZONE 71

## KC4USV

OP. KL7YR DR. TAKESHI OHTAKE  
1850 YANKOVICH RD.  
FAIRBANKS, AK. 99709 U. S. A.

CONFIRMING QSO WITH	DATE	UTC	MHZ	RST	MODE

PSE QSL DIRECTLY TO OPERATOR TNX 73

マクマード基地のアマチュア無線局(KC4USV)のQSLカード (オペレーターの大竹武氏より入手)



米国 1984.10.11 マクマード基地の消印での実通 (右側の切手は1971.6.23発行の南極条約10年記念切手)

# 英国の民間南極基地

Niall J. Saunders  
6, The Haughs of Clinterty  
Kinellar  
ABERDEEN  
Grampian, UK  
AB21 0TZ

**VP8NJS**  
also GM6GMZ

**Patriot Hills**  
ANTARCTICA

Position  
S 80° 18' 06.1"  
W 81° 20' 39.9"

**Patriot Hills**  
Ellsworth Mtns, ANTARCTICA  
LOCAL MAIL  
VP8NJS  
Oct '99 - Feb '00 \$ 5.00

FIRST DAY OF ISSUE  
01 JANUARY 2000  
PATRIOT HILLS, ANTARCTICA

To Radio	Date	UTC	Band	2-way	RS(T)	QSL
				J3E A1A		TNX PSE

Vy 73 de  
*Niall*  
njs101@compuserve.com

パトリオットヒルズ基地のアマチュア無線局(VP8NJS)のQSLカード (GM6GMZが運用)

**MILLENNIUM SOUTH EXPEDITION**  
**PATRIOT HILLS, ANTARCTICA**  
**OCTOBER 1999 - FEBRUARY 2000**

**Patriot Hills**  
Ellsworth Mtns, ANTARCTICA  
LOCAL MAIL  
VP8NJS  
Oct '99 - Feb '00 \$ 5.00

FIRST DAY OF ISSUE  
01 JANUARY 2000  
PATRIOT HILLS, ANTARCTICA

6, The Haughs of Clinterty  
Kinellar  
ABERDEEN  
Scotland  
AB21 0TZ

**NJS Technical Services**

• Web Page Design • Advertising Graphics • PC Support  
• Software Design • Hardware Development • Network Consultancy  
• Radio Communication • Telecommunications

Tel. +44 (0)1224 790041  
Fax. +44 (0)1224 791141  
Mob. +44 (0)7860 879047  
Email njs101@compuserve.com

Visit our website at <http://www.ic8d.co.uk>